

令和六年

七宝会

第一回

公演

◆二月九日(金)

十七時開演

◆枚方市総合文化芸術センター本館

関西医大小ホール

紫式部が後の世を
助け給へと諸共に
鐘打ちならして
廻向も既に終わりぬ

能 「春日龍神」

辰巳 和磨

狂言 「清 水」

善竹 隆司

能 「源氏供養」

辰巳 孝弥

日本を去り入唐渡天し給わん事
いかで神慮にかなふべき
ただ思し召し御止まり候へ

最も古興にして、
最もアヴァンギャルドな芸能
能楽をみなぎりに

七宝会
宝生流

【番組】

能 「春日龍神」

宮守の老人、龍神

辰巳

和磨

大鼓 辻

雅之

太鼓 上田

慎也

明恵上人 福王

和幸

小鼓 成田

達志

笛 赤井

要祐

從 僧 喜多

雅人

中村

宣成

社 人 善竹

隆司

狂言 「清 水」

太郎冠者 善竹

隆司

主 小西

玲央

後見 上吉川

徹

能 「源氏供養」

里の女 紫式部の霊

辰巳

孝弥

大鼓 森山

泰幸

笛 齋藤

敦

安居院法印 福王

知登

小鼓 吉阪

一郎

從 僧 広谷

和夫

喜多

雅人

日時 令和六年 二月九日(金) 十七時 開演

会場 枚方市総合文化芸術センター 本館 関西医大 小ホール

料金 指定席 4,500円 自由席 3,500円 学生 2,000円

◆スマホde解説

「衆我財団」様の支援事業として、お客様ご自身のスマホをお使いいただき、ご自身のイヤホンで解説をお聴きいただけるサービス提供が始まりました。ご希望の方はスマホとイヤホンをご持参のうえ、ご体験くださいませ。

【解説】

◇能 「春日龍神」 かすがりゆうじん
天竺への旅を決意した明恵上人は、春日大社へと暇乞いに参詣する。そこへ現れた一人の老神職。神職は、明恵が春日明神からの信頼厚い人物であること、釈尊滅後の今においては春日の地こそが聖蹟・靈鷲山にも等しき仏法の聖地であることを明かし、出発を引き止める。その言葉を受けて旅の中止を決意した明恵へ、神職は「三笠山に釈尊一生涯の物語を映し出そう」と告げると、自分こそ春日神の眷属・時風秀行の化身だと明かし、姿を消してしまふ。やがて、三笠山は金色の光を放ち、仏の説法の間が現出しはじめた。春日の里に集結し、法会の座を荘厳する龍神たち。釈迦の生涯をすべて見せた龍神は、明恵上人に入唐渡天の意志がもはやないことを確認し、猿沢の池へと姿を消す。

◇狂言 「清 水」 しみず

主人は茶会に使用する水を汲んでくるよう召使いに命じる。召使いは日頃からあれやこれやと用事を遣わされていて気が進まないのに、清水へ行くくと鬼に遭遇して襲われたと嘘をつき、主人から預かった秘蔵の水桶も投げ捨ててきたと言いつくす。主人が水桶惜しさに自ら様子を見に行くこと云々だったので、嘘がばれては大変と慌てた召使いは先回りをして、とある作戦を企てるが…。

◇能 「源氏供養」 げんじくよう

文芸によつて仏の教えを弘める安居院法印が石山寺を訪れると、そこへ紫式部の霊が現れる。式部は、自らが生前に書いた「源氏物語」の供養を怠つたために今なお苦しんでいると明かすと、法印に供養を頼み、姿を消してしまふ。夜、法印が回向をしていると、式部の霊が在りし日の姿で現れ、法印の弔いに感謝して舞を舞う。式部は、無常の世を観じて救済を願う自らの思いを舞に託すと、ついに救われる身を得たことを明かし、消えてゆくのであった。

◆令和六年 七宝会年間会員について

- 年会費 15,000円
- 年間5公演のうち、普及公演を除く4公演の指定席代金18,000円を15,000円でご提供いたします。
- 発売・予約開始は、会員は60日前(一般は50日前より)。
- 年度途中からでも会員に申し込みいただけます。

お問合せ・チケットお申し込み先

宝生流 七宝会

〒572-0009

大阪府寝屋川市末広町11-8 辰巳方

TEL 072-831-3206

FAX 072-832-5115

会場のご案内



枚方市総合文化芸術センター 本館 関西医大 小ホール

大阪府枚方市新町2-1-60

京阪電車「枚方市」駅から徒歩約5分